

キャッシュカードすり替え詐欺、多発中！

1月上旬より北海道内で「キャッシュカードすり替え詐欺」と見られる電話が多発しており、実際に被害に遭って預金を引き出された方もいます。電話が掛かってきている場所は札幌市内が多くを占めていますが、江別市や苫小牧市からも報告が来ており、油断は禁物です。

今回は、実際にあった被害例を紹介しますので、参考にしてください。

① 警察官を名乗る男から電話が掛かってくる

「銀行員が顧客の情報を不正に利用する事件が発生した。その銀行員が持っていた名簿にあなたの名前があり、キャッシュカードを新たに作成する必要がある。これから警察官を自宅へ向かわせるので指示に従って欲しい」という内容の電話が掛かってきた。

② 数分後、警察官を名乗る男が自宅へ来た

男から玄関先で封筒と紙を渡され「新たなキャッシュカードを作るためには、今までのものを封印・保管する必要があります。今お渡しした封筒にキャッシュカードと暗証番号を書いた紙を入れてください」と言われた。

指示どおりにすると「封印するには割印が必要です。銀行印を持ってきてください」と言うので、家の中に取りに行った。

～犯人は、このスキに別の封筒へすり替えます～

封筒に割印をすると、男は「今日封印した封筒は絶対に開封せず、警察からの指示があるまで大切に保管しておいてください。また、新しいキャッシュカードの発行については、後日銀行から説明の電話があります」と告げて帰っていった。

後日、連絡がないことを不審に思い封筒の中身を確認すると、見知らぬポイントカードが入っていたため、慌てて銀行に行ったが既に預金が全て引き出されていた。



● こんな点に注意しましょう！

- ・警察官を名乗る電話でも安易に信用せず、自分で調べた電話番号へ電話して確認しましょう。
- ・見知らぬ電話で「キャッシュカード」「暗証番号」という言葉が出たら特殊詐欺を疑いましょう。
- ・警察官を名乗る者がいきなり来訪しても絶対にキャッシュカードを渡したり暗証番号を教えないようにしましょう（警察官がキャッシュカードを預かることは絶対にありません）。
- ・特殊詐欺は固定電話に掛かってくるケースが多いですが、最近は携帯電話・スマートフォンに掛かってきたり、SNSで連絡が来る場合もあるので注意しましょう。
- ・特殊詐欺の電話が掛かってくるということは、受け取り役の犯人が自宅近くに潜んでいる可能性があります。お出かけの際は、戸締りをしっかりするなど対策をしましょう。

不審者や不審車両を見かけたら
警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ㊟ 0110 追分駐在所 ☎ ㊟ 2003
安平駐在所 ☎ ㊟ 2339 早来駐在所 ☎ ㊟ 2030 遠浅駐在所 ☎ ㊟ 2211 役場総務課 ☎ ㊟ 2511